

受付番号	6	受付月日	令和8年8月18日 午後 4時00分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長 水 川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

無会派

議席番号

13

番 氏 名

加藤 啓二

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 シルバー人材センターを核としたシニアが活躍できるまちづくり	(1) シルバー人材センターの現状について ア 現在の会員数（男女別、年代別）、就業率、受注件数、契約金額など近年の推移を把握し、町としてどう捉えているのか。また、どのような課題があると認識しているのか伺う。 イ 本町からシルバー人材センターへ発注している業務にはどのようなものがあり、その件数や金額はどの程度なのか。また、今後さらに発注可能な業務はあるのか伺う。 (2) インボイス制度によるシルバー人材センターの負担と町の支援について 令和5年10月からインボイス制度が始まり、シルバー人材センターの運営にも影響が生じている。 ア インボイス制度の導入後、東郷町シルバー人材センターの事業運営にどのような影響が生じていると把握しているか。特に、消費税の負担、発注者への料金転嫁、事務負担、配分金の影響、事業収支への影響について、町の認識を伺う。 イ 町がシルバー人材センターへ業務を発注する場合、インボイス制度による負担を考慮し、適正な委託料・契約金額となるよう対応しているのか。また、今後物価上昇や最低賃金の上昇等も踏まえ、シルバー人材センターが安定的に事業を継続できるよう町からの発注単価について適切に見直していく考えはあるのか伺う。 ウ 町はシルバー人材センターに対して補助金を交付しているが、インボイス制度による負担や人件費・物価等の上昇によって同センターの運営が厳しくなる場合、町として補助金	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
	の在り方を含め、必要な支援を検討する考えはあるのか伺う。 (3) シニア人材の社会活動について ア シルバー人材センターの会員を「就業を求める高齢者」としてだけではなく、「経験や技能を持つ地域人材」として捉え、その能力を地域の社会活動に活かすべきと考えるが町の考えを伺う。 イ 町内企業や商店、農業者などでは人手不足が課題となっている。シルバー人材センター、町内事業者及び町が連携し、高齢者の経験・技能と町内事業者の人手不足を「シニア人材の活用」で補うことについて、町の考えを伺う。 (4) 高齢者福祉の重要な担い手としてシルバー人材センターを位置付けることについて 本町の高齢者福祉計画では、高齢者ボランティアポイント制度や通いの場など、社会参加や生きがいにづくりに関する施策も進めている。これらの施策とシルバー人材センターをより一層連携させ、高齢者が「働く」「ボランティアをする」「地域活動に参加する」など、それぞれの希望や能力に応じて活躍できる仕組みをつくる考えはないか。 (5) 「シニアが活躍できるまち東郷町」について ア 産業振興、高齢者福祉、健康づくり、地域活動、環境、子育て支援など、庁内の各分野との連携を強化し、東郷町シルバー人材センターが重要な地域資源・地域づくりの拠点となるよう町が支援することについての考えを伺う。 イ シルバー人材センターを核として、高齢者の「仕事」「生きがい」「健康」「社会参加」「地域貢献」につなげることができる「シニアが活躍できるまち東郷町」を目指してはどうか伺う。	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。